



## 「ごみ減量化に向けて」アンケート集計結果

－ 53.0%の人が、有料化が家庭ごみの減量・資源化に効果あり －

### ■ アンケートの趣旨

生駒市では循環型社会構築や地球温暖化防止等のため、平成 23 年 5 月に「生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 ～ごみ半減プラン～」を策定し、平成 23 年から 32 年までの 10 年間でごみの焼却量を半減することを目標としています。

この目標を達成するため、プラスチック製容器包装の分別収集・資源化、広報紙等でのごみ削減の啓発活動などに取り組むとともに、平成 27 年 4 月から家庭系ごみの有料化を実施しており、市民の皆さんの取り組みにより、平成 27 年度の家庭系燃えるごみの収集量は、平成 25 年度に比べて 11.2%減少、平成 26 年度と比べると 13.8%減少しています。

家庭系燃えるごみ収集量	
H25 年度	20,626.07 t
H26 年度	21,247.68 t
H27 年度	18,314.83 t

今般、この減量化の流れをより一層進めるため、市民・事業者・行政が連携してごみ減量に向けた活動を実践する「生駒市ごみ減量市民会議」を立ち上げました。

このごみ減量化についてのアンケートは、今後「生駒市ごみ減量市民会議」がごみ減量に向けて様々な取り組みを進める上で参考とするため、改めて市民の皆様のごみ減量化に関するご意見をお伺いしたものです。

### ■ アンケートの概要

- ◇ 対象 市内に在住の世帯主の中から 2,500 名を無作為で抽出し、家族で主にごみを出されている人としてしました。
- ◇ 実施期間 平成 28 年 9 月 15 日に発送し、回答期限は 9 月 30 日（金）としてしました。
- ◇ 回収枚数（回収率） 1,181 通（47.2%）

### ■ アンケート結果

- ◇ 使用指定袋 想定したより小さい指定袋を使用

「Q6. 主に何リットルの指定袋を使っていますか。」では、想定していたより小さい指定袋が使用されていることが確認できました。

Q6. 主に何リットルの指定袋を使っていますか。		
1	7ℓ	269 (22.8%)
2	15ℓ	353 (29.9%)
3	30ℓ	328 (27.8%)
4	45ℓ	194 (16.4%)
5	無回答	37 ( 3.1%)

◇ 一週間での使用袋数 1週間に2袋が多い

「Q7. 一週間(燃えるごみの収集2回)で指定袋を何袋出しますか。」では、一週間(燃えるごみの収集2回)で1袋以下しか出さない人(毎週出さない人含む。)も22.5%いることが確認できました。

Q7. 一週間(燃えるごみの収集2回)で指定袋を何袋出しますか。		
1	1袋	208 (17.6%)
2	2袋	790 (66.9%)
3	3袋	71 (6.0%)
4	4袋以上	30 (2.5%)
5	毎週は出さない	58 (4.9%) (1袋/2週 33)
6	無回答	24 (2.0%)

◇ プラスチック製容器包装・ミックスペーパーの分別 分別によりごみが減量

Q9でプラスチック製容器包装については、91.3%が、Q10でミックスペーパーについては、84.2%が分別をしていると回答しており、有料化により多くの方が分別していることによって、ごみの減量が進んでいることが確認できました。

また、プラスチック製容器包装で、8.7%が、ミックスペーパーについては、15.8%がまだ分別していないので今後啓発していく必要があります。

Q9. プラスチック製容器包装を分別して資源ごみとして出していますか。			Q10. ミックスペーパーを燃えるごみの日や集団資源回収に資源ごみとして分別して出していますか。		
1	はい	1078 (91.3%)	1	はい	994 (84.2%)
2	いいえ	58 (4.9%)	2	いいえ	138 (11.7%)
3	無回答	45 (3.8%)	3	無回答	49 (4.1%)

◇ 環境・ごみへの関心 有料化前より関心は減少

「Q11. 環境・ごみに関心はありますか。」では、「大いに関心がある・少し関心がある」の合計が、平成25年度94.6%が、平成28年度で89.6%に5%に減少しました。引き続き高い水準にはあるものの、有料化実施前より実施後のほうが環境・ごみに関心が若干減少しています。

Q11. 環境・ごみに関心はありますか。			※H25
1	大いに関心がある	434 (36.7%)	416 (40.2%)
2	少し関心がある	625 (52.9%)	562 (54.4%)
3	あまり関心がない	85 (7.2%)	41 (4.0%)
4	まったく関心がない	11 (0.9%)	7 (0.7%)
3	無回答	26 (2.2%)	8 (0.8%)

◇ 重点施策の効果 ごみの有料化に効果があると思う人が53%に

「Q16. 家庭系ごみの減量・資源化を進めるにあたって、生駒市が「ごみ半減プラン」で重点施策としている施策について、それぞれ、どの程度効果的だと思いますか。4 家庭系ごみ処理の有料化」の問いに対して、「非常に効果的と思う・やや効果的と思う」の合計が、平成25年度の35.1%が、平成28年度で53%に17.9%に増加しています。有料化実施前より実施後の方が、家庭系ごみ処理の有料化が家庭ごみの減量・資源化に効果的と思う人が増加しています。

4 家庭系ごみ処理の有料化		※H25
非常に効果的と思う	289 (24.5%)	129 (12.5%)
やや効果的と思う	336 (28.5%)	234 (22.6%)
あまり効果的と思わない	194 (16.4%)	234 (22.6%)
効果的と思わない	164 (13.9%)	221 (21.4%)
どちらとも言えない	95 (8.0%)	167 (16.2%)
無回答	102 (8.6%)	49 (4.7%)

◇ 自由記述欄 今後のごみ減量の取組みのために

「Q19. 家庭や地域及び生駒市のごみ減量の取組について、あなたの意見や提案などをご自由にご記入ください。」の意見や提案の主なものについては、次のようなものがありました。

[有料化に賛成]

- ・ ごみ減量の意識を高めるためにも有料化は有効でごみの量が減少した。
- ・ 有料だから極力ごみを減らそうと行動します。
- ・ 地域でもかなりごみの量が減っています。掃除もらくになりました。

[有料化に反対]

- ・ 有料化に反対、無料に戻してほしい。
- ・ 一定量の指定袋の無料配布してほしい。
- ・ 指定袋・大型ごみ処理券が高すぎる。
- ・ 指定袋の種類や品質に不満がある。

[その他]

- ・ ごみの分別についての啓発が必要
- ・ プラスチック製容器包装ごみが増えて集積場所を増やしてほしい。
- ・ 大型ゴミ・燃えないごみを地域で出せるようにしてほしい。
- ・ 分別した資源ごみの処理が適正に処理されているか疑問。
- ・ 事業者にも過剰包装しないように指導することも必要。
- ・ 家具や子ども服をリユースするシステムを作してほしい。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市環境保全課（課長 吉川） ☎0743-74-1111(内線 351)